



②



③



①



⑤



④

- ①道の駅ピュアラインにしきの既存建物のすぐ隣に建設された多目的施設
- ②テラスからは宇佐川の清流や美しい景色を眺めることができる
- ③間仕切りを使うことで、16人が使用できる4つの部屋にすることも可能
- ④周囲の景観に配慮した木造平屋建ての建物
- ⑤特産品のこんにやくを使った懐石料理

道の駅ピュアラインにしきの敷地内に新たに「岩国市錦町多目的施設」が完成したことを祝い、6月15日、落成式が行われました。

式典に臨んだ福田良彦市長は「新たな施設は、団体観光客や地域の人々のさまざまな用途に対応でき、今後、道の駅と共に観光・交流の拠点、にぎわい作りの場所となることを期待している」とあいさつしました。

また式典内で、春夏秋冬の風景や味を楽しめること、「遊び

岩国市錦町多目的施設「錦彩」落成式

にきんさい」などの語呂合わせになることなどから、施設の愛称を「錦彩」とすることも発表されました。

この施設は、最大64人を収容することができ、可動式の間仕切りを使用し、4部屋に仕切ることができ、利用には予約が必要で、市民の行事や会議などの他、団体客の昼食など、幅広い用途に使用される予定です。

問錦総合支所地域振興課 ☎(72)2110、利用予約 ☎ピュアラインにしき ☎(71)0011

心安らぐ憩いの場となるよう

市政 PICK-UP



落成式当日はあいにくの雨となったが、テープカットを行い施設の完成を祝った

子供に人気の遊び場が再開

7月1日、吉香公園の噴水施設が復旧し、大放射噴水と2カ所のごろた噴水から、1年ぶりに勢いよく放水が行われました。これらの噴水は、昨年7月の西日本豪雨による浸水で配電盤やモーターなどが故障したことから、放水を休止していました。今回の工事では、被災した機械電気設備の修理を行うとともに、今後、同様の浸水被害に遭わないよう、機械室内にコンクリート製の止水壁を設ける改修を行っています。

吉香公園噴水施設の復旧

放水が再開された7月1日以降、噴水周辺には多くの市民や観光客が訪れ、散策や写真撮影を楽しんでいました。大放射噴水前の徒渉池では、早速水着姿になった子供たちが、大はしゃぎで水遊びを楽しみ、本格的な夏の前にした再開を喜びました。噴水設備は1979年に完成したもので、荒天時などを除き、毎日10時から16時まで運転されており、吉香公園のシンボルとして市民に親しまれています。園公園景観課 ☎(41)1780



大放射噴水と徒渉池(通称ちゃぶ池)は、小さい子に人気の夏の水遊びスポット



2カ所のごろた噴水も再開し、公園内に涼しげな雰囲気演出(ごろた噴水には立ち入りできません)



学生たちは、県職員による解体処理の作業工程や牛の状態などの説明を熱心に聞いていた

食肉センターの役割を学ぶ

7月4日、山口大学共同獣医学部生による周東食肉センターの見学が行われました。毎年2回行われる見学に、この日は15人の学生が訪れ、施設の役割や

作業工程の説明を受けた後、県職員(獣医師)が牛の内臓を視診している様子などを見学し、各工程で見られる牛の筋肉や内臓の状態を確認しました。

見学を終えた学生は「センターが行う事業の役割や、教科書だけでは分からないことを直接見て確認することができ、大変

山口大学共同獣医学部生の周東食肉センター見学

勉強になりました」と感想を述べました。

周東食肉センターは平成26年から新施設での運用を開始し、安心・安全な食肉を安定して供給するため適切な衛生管理の下で牛の解体処理を行っています。今回の獣医学部生の見学受け入れの他に、作業の過程で生じる血液などの不要物を企業や大学の研究室に提供するなど、さまざまな機関と連携しています。

園周東総合支所環境衛生課 ☎(84)7700



周東食肉センターは県内最大の食肉処理施設で、年間約2,200頭の牛の解体処理を行っている